

湯沢CS通信

令和7年7月25日 第84号
(発行) 湯沢市教育委員会
学校教育課 CS担当

六月から七月にかけて、各校で第二回学校運営協議会が開催され、熟議が行われています。本市としては、熟議の形式や内容に関して特にこだわらず、よりよい教育環境づくりのための協議を重ねてほしいと考えています。

湯沢西小学校

日時 六月二十日(金) 十時三十分～十一時五十分

テーマ 「みんなで残そう 湯沢の魅力」

参加者 委員・自治会長・PTA役員・教員(二十六名)

六年児童(五十五名)

ファシリテーター 伊藤武校長先生

進め方

- ・ラウンド1「あなたが考える湯沢の魅力とは？」
- ・ラウンド2「出された魅力を分類しよう」
- ・ゲストコメンテーター(鎌田功統括推進員)から
- ・ラウンド3「みんなでできることを考えよう」

記録から

- ・児童と地域の方々、教職員それぞれの立場から「湯沢の魅力」を出し合い、分類し、それを残していくための方策について考えを出し合うことができた。
- ・世代を超えた意見交流を通して、ふるさとのよさを再認識するとともに、それを継承していくために何ができるかと、自分のこととして考えるよい機会となった。

湯沢北中学校

日時 六月二十五日(水) 十五時～十六時三十分

テーマ 『Yuzawa Pride』(って何c:)

参加者 委員・地域の方・教員(二十七名)

生徒(二十七名)

進行 菊地至教頭先生

進め方

・湯沢市の観光PR動画の視聴

・話し合い1 『Yuzawa Pride』(って何c:)

・話し合い2 「付箋をグループ化し、見出しをつける」

・話し合い3 『Yuzawa Pride』に込められた思いを考えて

中学生は具体的にどんなことができるだろうか？」

記録から(話し合い3で出された考え・意見)

- ・伝統行事や祭りへの参加(SNSで発信)
- ・祭りに来た方々への案内(方言や英語で案内)
- ・伝統の継承のため、興味のあることへの挑戦
- ・修学旅行や校外学習先で湯沢市のよさのプレゼン
- ・地域の高齢者との交流(学校祭、雪寄せ等)
- ・端材を使用した商品の開発
- ・地域の方と協力し、食に関するイベントの開催
- ・ボランティア活動での地域貢献(地域清掃、防災等)
- ・地域住民の健康のためのイベント開催
- ・地域について学んだことの発信や提案
- ・湯沢市の魅力を中学生目線で発信 など

皆瀬小学校 皆瀬中学校

日時 七月二日（水） 十五時二十分～十六時二十分

議題1 小・中学生が地域の方々と交流したり、地域に貢献・

奉仕したりする機会（可能性）には、どのようなことが
考えられるか。

議題2 学習発表会と皆中祭の充実を図り、地域との連携を
より深めるためには、どのようなアイデアが考えら
れるか。

参加者 委員（十二名）、教員（二十一名）

進行 大内秀朗教頭先生

進め方

- ・グループ協議Ⅰ 議題1について

- ・ギャラリウオークⅠ

- ・グループ協議Ⅱ 議題2について

- ・ギャラリウオークⅡ

記録から

〈議題1〉

- ・あぐり館とコラボする。皆瀬支所で小・中学校がイベント
を行い、地域の方々に見てもらう。
- ・運動会に保育園種目をつくる。中学生との交流を増やす。
- ・小中学生が観光客に直接アピールする。
- ・地域の先輩から学ぶ。道徳等へのゲストティーチャー。
- ・皆瀬再発見CMを作り、広める。

〈議題2〉

- ・保育園児が発表する場をつくる。
- ・子どものいないお宅の方々も、何か役割をもって参加す
る（参加するきっかけをつくる）。
- ・参加型の演目をつくる（みんなで踊る、歌う、大人の部）。

雄勝中学校

日時 七月四日（金） 十四時四十五分～十五時十五分

テーマ 「私たちの考える雄勝の未来」

参加者 委員（十名）、三年生徒（二十八名）

進め方

- ・自分が考えてきたことを発表する。
- ・質問や感想など（生徒同士、委員から）
- ・委員からのアドバイスなど

記録から

〈生徒の考え〉

- ・雄勝のよさをアピールし、集まる場（機会）をつくりた
い。

- ・雄勝好きの聖地にしたい。

- ・イベントを行って盛り上げつつ、伝統も守っていく。

- ・地域素材を使った商品開発をする。

〈委員のアドバイス〉

- ・よりよく雄勝を知る。

- ・ゴールを設定して、複数年で取り組む。

- ・他にはない特徴やよさをアピールする。

- ・ボランティア等で地域との関わりを深める。

- ・思っていることを口に出し、実現する。

- ・秋田の南の玄関口であることを生かす。 など

熟議はコミュニティ・スクールに欠かせない取組です。各
校では、学校運営協議会委員、PTA役員、保護者、地域の方、
児童・生徒、教員など、様々な立場の人が参加して実施され
ています。